

2009.10.9 (vol.13)

高校教育課 情報メール

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組や全日制課程普通科通学区域の全県一学区等についての情報をお届けします。

1 高校の特色ある取組, 2 学校紹介スペシャル, 3 コラムは各高等学校から寄せられた原稿を掲載しています。

なお, 県立高等学校についての情報及び全県一学区についての情報は以下のホームページをご覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

全県一学区に向けての取組

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/ichigakku/ichigakku.htm>

■ もくじ ■

1:【高校の特色ある取組】

(1)白石工業高等学校

＜学校開放講座と資格取得について＞

(2)仙台第一高等学校

＜リーダーとしての力を養成する「学術研究基礎」＞

(3)貞山高等学校

＜昼夜合同の部活動（運動部）・昼夜独立の生徒自治会, がんばっています!＞

(4)黒川高等学校

＜ムテキング黒高ロボット, 常勝ゴルフ愛好会について＞

(5)古川高等学校

＜躍動の秋—生徒会役員選挙・体育祭を実施＞

2:【学校紹介スペシャル】

宮城野高等学校

ここでは一人ひとりが輝きます あなたは何色に輝きますか

富谷高等学校

開校以来, 国際理解教育は本校教育の重要な柱のひとつ。ここ数年は特に学校内外に広くリンクした活動がいくつかありましたので, ご紹介します。

仙台第二高等学校

北陵の風に誘われて新しい物語が今始まる

迫桜高等学校

夢 はばたけ未来へ!

石巻西高等学校

学習習慣の定着を目標とした取組と新カリキュラム導入

3：【コラム】

泉松陵高等学校

生徒会長が泉松陵高校を紹介します

4：【お知らせ】

公立高校合同相談会を実施して

公立高校ガイド（入試情報）について

公立高校ガイドブックについて

平成22年度宮城県公立高等学校入学者選抜事務説明会開催日程一覧

5：【編集後記】

■ 1 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ 白石工業高等学校

<学校開放講座と資格取得について>

前回（6月配信）は「個性かがやく高校づくり」と題する研究事業について簡単にご紹介致しました。骨子は次の3点ですが、詳しくお知りになりたい方は、本校教務部までご連絡ください。

1 東北工業大学の授業を年15回大学進学希望者に放課後行っています。

2 プロの方からの技術指導と職業体験を実施しています。

3 地域の方々へ、工業高校ならではの技術を提供しています。

例 市民防災講座（建築科）・おもちゃの病院（部活動）・中学校への出前授業（工業5科）

4 みやぎ県民大学「学校開放講座」について（今年度の募集は終了しました）

毎年本校の工業各学科が、もちまわりで学校開放講座を担当しています。本年度は機械科が担当で、本校にある旋盤の機械を使い自分独自の文鎮製作を経験して頂きます。

5 朝自習

基礎学力向上のために、1・2年では資格取得と関連させて、朝自習を行っています。

6 資格取得

各種の資格取得をめざし、各学科のみならず全教科でも応援しています。取得（合格）した資格は内容に応じて各教科の増加単位となります。

□ 仙台第一高等学校

| <リーダーとしての力を養成する「学術研究基礎」>

仙台一高では、これまでも生徒一人一人の自主的・自発的な活動を推進することによって、主体的に問題を解決するための姿勢と能力の養成を行なってきました。これをさらに推し進めるために、これまで行なってきたさまざまな活動を統合して、来年度入学生から、主に総合的な学習の時間を利用して、新たに「学術研究基礎」を実施します。

これは、各教科学習で身につけた基礎基本的な知識や技能を結集し、1年次での「合同巡検」と2年次での「校外研修」を中心にグループ研究や個人研究に取り組むことによって、学術研究の基礎力である「情報の収集・分析・活用能力」「論理的思

考力・判断力」「表現・伝達能力」と「主体的に問題を解決する姿勢」を養成するものです。

「学術研究基礎」を通して身につける、これらの能力と姿勢は、生徒一人一人の進路実現と大学での専門研究に役立つばかりでなく、研究者や社会のリーダーとなるための重要な資質になるものです。

具体的な内容は以下の通りです。

I 期（1 年次前半）

研究のための基本的な手段や方法を身につけます。課題の設定から始まり、「合同巡検」でのフィールドワークとミニ論文の作成に取り組みます。

II 期（1 年次後半～2 年次前半）

各自の興味・関心や進路希望等によって各ゼミに分かれます。各自のテーマにそって「校外研修」での大学や研究機関等の訪問や調査・実験等の活動を行います。

III 期（2 年次後半）

各自のテーマにそった研究の成果を総合研究発表会等で相互に評価（アドバイス）を行い、最終的に論文（レポート）にまとめます。

□ 貞山高等学校

└ < 昼夜合同の部活動（運動部）・昼夜独立の生徒自治会，がんばっています！ >

今回は本校の部活動と生徒自治会の魅力について紹介したいと思います。

本校の部活動・同好会の数は昼間部が18（うち同好会1部）で夜間部が10で合わせて28です。本校は昼夜二部制のため10時45分から20時40分の間授業時間が設定されているので、活動時間は昼間部が9時30分から10時30分、夜間部が20時40分から21時30分です。ただし運動部は全国大会を目標に昼夜合同で活動をしているので、併修時間の授業が無い毎週水曜日と県大会1週間前にあたる部活動強化週間の1週間は15時30分から17時までの時間、全国大会進出をねらい工夫しながら熱心に取り組んでいます。そのことにより昼間部・夜間部の生徒の壁は無くなり日頃の学校生活の中でも良い影響が出ています。県内の他の定時制の単位制高校に比べると、部活動の活動時間も保証されており、多くの運動部が全国定時制通信制大会に出場しています。

年間の主な大会参加は全国大会の選考会を兼ねる6月の定時制通信制体育大会（通称：定通総体）と毎年9月に実施されている秋季仙塩地区定時制体育大会（通称：四校戦）があります。多くの部が全国大会では常連校としてベスト8以上に入賞しています。

また、文化部では放送部が、他の全日制高校と同じ舞台上で活動し、全国NHK放送コンテストにおいて準々決勝進出を果たしています。（詳しくは本校HPをご覧ください。）美術部は昼間部・夜間部それぞれで活動し県高校美術展に出品をしています。このように文化部・運動部ともに全国・県内において「貞山高校」の名を響かせています。

生徒自治会は昼間部・夜間部それぞれ独立して組織されていて、貞山高祭（文化祭）やリーダー研修会及び生徒総会などに向けた活動を中心に幅広い活動を行っています。

その中でも貞山高祭においては文化祭実行委員とともに企画・立案・運営という重責を担っていて毎年恒例の合同企画などは、一般生徒にとっても興味・関心の深いものです。

このように各々の場面において昼夜合同・独立による活動がなされ、生徒は有意義な学校生活を日々送っています。

→<関連HPはこちら> <http://www.teizan.myswan.ne.jp/>

□ 黒川高等学校

| <ムテキング黒高ロボット，常勝ゴルフ愛好会について>

6月のメールマガジンでは、学科改編のことや、現在黒高が取り組んでいることを紹介しました。今回は黒高のユニークな2つの部活動を紹介します。電子機械研究部とゴルフ愛好会です。

電子機械研究部は別名ロボット部とも呼ばれ、今年8月に開催されたロボット相撲県大会で優勝しました。ラジコン型では5連覇で1，2，3位独占しました！自立型でも第2位！という快挙でした。また秋には別のロボットが様々な課題にチャレンジするロボットコンテストに出場予定です。昨年度は県大会で優勝し全国大会に出場しました。今年も優勝の期待がかかります。

もう一つは、ゴルフ愛好会です。2年前、県内の公立高校では初のゴルフ競技団体として発足しました。現在12名が活動しています。今年6月に行われた全国高校ゴルフ選手権東北大会では連覇し全国大会へ。また今年7月仙台ヒルズゴルフ倶楽部で行われた「東北高等学校・中学校ゴルフ選手権」でも優勝しました。

もちろん他の部活動も活発に活動しており、体育館や広大なグラウンドではさまざまな部活動が練習に励んでいます。どの部も成績が年々向上しているのが自慢です。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆ 学校公開のお知らせ ◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

学校公開を下記の日時で行います。各学科の学習内容や雰囲気を知ることが出来ますので、多くの中学生の参加をお待ちしております。

日時 平成21年10月17日（土）9:00～12:00（希望学科での授業体験）

<ホームページはこちら <http://kurokawa.myswan.ne.jp/>>

□ 古川高等学校

| <躍動の秋——生徒会役員選挙・体育祭を実施>

秋は生徒会における世代交代の季節です。古川高校でもこれまで学校行事を中心にやってきた3年生から2年生へバトンが受け渡されました。9月11日に生徒会役員選挙が行われ、2年生の新生徒会長と新応援団長が誕生しました。生徒の代表でもある生徒会長は、リーダーとしての素質だけでなく、ユーモア性も求められています。今年度も、個性的で魅力ある生徒会長の下に生徒会執行部が結成され、同時に新応援団も組織されました。応援団長は、男子校の時代からの伝統により、本校の式典における校歌斉唱の際に壇上でリードします。9月24日の始業式の校歌斉唱では、新応援団長が見事なデビューを飾りました。応援団としては各種集会や運動部の応援などで活躍します。

古川高校の最大の魅力は、生徒が生徒会長に求めている資質などから明らかなように、生徒が中心となって各行事を行っていかこうとする意欲が非常に強いところにあります。特に3大行事である定期戦・古高祭・体育祭は、非常に盛り上がります。体育祭は9月上旬に行われる予定でしたが、今年度はインフルエンザが流行し、欠席者も多かったことから、下旬に延期されました。

体育祭開催に向けた準備は、2ヶ月前から体育祭実行委員会を中心に進められ、運

営方法や競技種目が練られていきます。また、各クラスでもTシャツを作成するなどして盛り上げる準備が行われてきました。9月中は練習に励むクラスもあり、朝や昼休みには、校内で楽しく練習する声が至る所から聞こえました。体育祭当日は各クラス色とりどりのTシャツを着用し、クラスの勝利を目指してサッカー、バレーボール、バスケットボール等の競技に挑み、また懸命に応援します。特に、晴天雨天に関わらず実施される男子15人、女子10人で行われるクラス対抗リレーは非常な盛り上がりを見せます。今年度は体育祭2日目に晴天の中で行われました。クラスの勝利を懸けて一人ひとりが懸命に走る姿は、見る者全てを感動させてくれます。今年度は例年ですと一回戦か二回戦で姿を消す一年生が大健闘し、優勝・準優勝する種目もありました。開催が1ヶ月遅れ、その分体力の低下も懸念された3年生でしたが、総合成績では3年生のクラスが1位～3位を独占しました。

閉会式では、入賞クラスの勝利の雄叫びがグラウンドに響き渡りました。「文武両道」の校訓の下、心身を鍛え続け、ここぞという時にはしっかり力を発揮する最上級生への後輩諸君の熱い拍手が、しばらく続きました。

10月からは新人戦などの対外行事に向け、2年生を中心とした体制で各種大会に挑みます。3年生は進路達成に向けて、さらに引き締まった学校生活を送ります。生徒一人ひとりがそれぞれの目標を掲げ、最大限に努力する季節となりました。学校全体が、新たな成長を目指して動き出しています。

古川高校のホームページは、今回ご紹介した体育祭の様子だけではなく、中学生の皆さんに向けた入試情報なども充実しております。是非一度アクセスしてみてください。

→ <くわしくはこちら> <http://www.furuko.myswan.ne.jp/>

■ 2 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 宮城野高等学校

| <ここでは一人ひとりが輝きます あなたは何色に輝きますか>

勉強だけじゃない！宮城野で「創造的自由」を身に付けてほしいのです。それは

☆大きく進む

行動力と協調性を備え、他者を尊重しながら目標を成し遂げる人間

☆深く考える

広い視野と高い課題意識を持ち、自由な発想と豊かな創造性で立ち向かう人間

☆鋭く見る

グローバル化・情報化の進む中、物事の本質を見極めながら行動する人間

これらの力を備える自立した人間。そんな人を21世紀は求めているのです。それに応えるために、本校では次のような特色ある取組を行っています。

さあ、宮城野高校の扉を開いてみませんか。

【徹底した学力サポート】

知識を拡大し深めていくこと、それが思考力を育成するための第一歩です。本校ではこれを学びの土台としてとらえています。

・多様な選択科目で、興味関心や進路にマッチした学習が可能です。宮城野高校の質の高い授業は確かな力を育み、進路希望実現を強力にサポートします。

・少人数授業やティームティーチングで丁寧な授業を行います。放課後学習でもきめ細やかに対応します。

・総合学科，美術科，普通科の特色を生かした学び合いの環境があります。

【インターカリキュラム】

各教科での学びを結び付け，様々な実践を通じて授業だけでは得られないより深い理解と課題解決力の育成を目指します。

・「産業社会と人間」・「フロンティアタイム」や「プロジェクトスタディ」。

ここではまず課題解決の手法を身に付けます。次に実社会や学問領域に視野を広げ，現代の諸課題を調査・研究・発表します。

・特別講座では，大学や研究所・企業の第一線で活躍されている方々との交流を通じて生きた体験を行います。例年100程度の講座が設けられます。

・ホームルームでは，年次やホームを横断した活動も行われます。

【創造的活動】

本校では生徒が自主的に様々な活動を立ち上げ，積極的に運営していきます。

「宮城野の自由」を体現する，生きた実践の場です。

・「校内ボランティア」は，学校生活をよりよくしていくために生徒が自ら立ち上げて運営する組織です。特に行事ボランティアの活躍は目を見張るものがあり，活発に活動して行事を成功に導いています。

・「サークル」は運動系や文化系など，多様な団体が立ち上げられています。いくつかのサークルを掛け持ちできるので，様々な活動が可能です。

・課外講座や土曜講座では，希望者が主体的に学習に取り組みます。美術科の課外はクリエイティブな活動として真剣勝負の時間です。

・「放課後講座」は，授業やインターカリキュラムでの学びを一層深めるために生徒が企画し教員がサポートしながら実践的な活動をする場です。

【校外での活動】

学校を飛び出し，直接の体験から学びます。専門家との関わりや地域での体験は自己と社会を知ることにつながり，生涯にわたる学びへの大きな力となります。

・インターカリキュラムの活動の中で，様々な場所での体験学習を行います。

・教科の巡検や研修が行われ，知識の深化を目指します。特に美術科では，合宿や研修旅行など，本物の美を体感するための大切な機会となっています。

・小学校教育助手体験。これは3年次生が近隣の小学校で助手として活躍します。

※本校の機能的なコンピュータ・ネットワーク環境は，生徒の活動を強力にサポートします。各自が自分のID・パスワードを持ち，校内随所にあるコンピュータを活用しています。共同して作業する共有エリア，自分専用のディスクエリアもあります。

◎11月3日（火）～8（日）『美術科卒業制作展』を宮城県美術館で開催します。

本校の雰囲気を感じていただけますので，ぜひとも足を運んでください。

→〈ホームページはこちら〉<http://www.miyagino.myswan.ne.jp/>

□ 富谷高等学校

| <開校以来，国際理解教育は本校教育の重要な柱のひとつ。ここ数年は特に学
| 校内外に広くリンクした活動がいくつかありましたので，ご紹介します>
| _____

1 日中・日韓交流事業への参加

平成19年から外務省は「21世紀東アジア青少年大交流計画」を実施しており，

さらに平成20年は日中平和友好条約締結30周年でした。日中両政府はこれを記念して「日中青少年友好交流年」とし、日中両国が青少年を招待し合う交流事業が行われました。本校にも、平成19年に中国の高校生20人が訪れ、授業見学や部活体験をしたり生徒の家にホームステイ（1泊）して、交流を深めました。翌平成20年10月には、宮城県の高校生が訪問団を結成、本校からも2年生4人と1年生1人（いずれも国際コース女子）の5人の生徒が、訪問団の一員として中国を訪れました。北京、大連を6泊7日の日程でまわり、ホームステイも体験するなどして、中国の高校生らと交流しました。「オリンピックの後も発展を続ける北京でも、路地裏に一步入ると昔ながらの住宅街が広がっている」「日本の10倍の人口の国で、中国の高校生は激しい競争を闘っている」など、実際の中国の姿を目にして、ひとりひとり、かけがえのない経験をしてきました。

さらに今年（21年）は、宮城県の高校生の訪問団が韓国を訪れることになっており、本校からは3年生4人、2年生4人、1年生2人の計10人が参加する予定です。

2 「国際理解に関する弁論大会」

宮城県高等学校国際教育研究会が主催するこの弁論大会は、平成20年度（第43回）と21年度（第44回）、本校の国際講義室を会場にして開催されました。両回とも県内の高校生15人ほどが参加し、いずれも国際的な体験をとおして得たものを真摯な言葉で訴え、聞いている人に深い印象を与えました。

20年度の大会では、本校からの参加者の石原瑞希さん（国際コース現3年）が、上述の中国訪問団の一員として中国を見たこと、中国の高校生との交流を通して学んだことを発表して、宮城県高等学校国際教育研究会長賞を受けました。なお最優秀賞にあたる宮城県知事賞は仙台白百合学園2年の鈴木亜衣里さんが獲得、11月に東京で行われた中央大会に県代表として出場して法務大臣賞（2位に相当）に輝きました。

21年度は本校から4名が出場しました。残念ながら入賞はできませんでしたが、国際理解と異文化理解へのそれぞれの考えを率直に訴え、大きな拍手を浴びました。

3 2年国際コースの海外修学旅行

国際コースの修学旅行は、国際の名に恥じず、海の外へ飛び出します。2クラス80人が、12月はじめに4泊5日の日程でシンガポールとマレーシアを訪れます。平成20年の2年生（13回生）で3回目となりました。初日は2クラス80人でシンガポール市内を見学し、次の日は、5～7人のグループを作り現地シンガポールの大学生のガイドでシンガポール市内を自主研修しました。生徒は口々に「英語が使えてうれしかった」「もっと英語を勉強しておけばよかった」などと生の異文化体験を振り返っています。またマレーシアでは、一般家庭を訪問し、伝統食をご馳走になったりこどもと遊んだりしました。身振り手振りのコミュニケーションで貴重な国際交流を体験しました。

4 チェコ大使の講演（平成21年5月）

平成21年の春先のこと。EU（ヨーロッパ共同体）の日本事務局が、海外での宣伝活動の一環として、講演を希望する高校を募集しました。富谷高校はさっそく手を挙げました。やってきたのは本物のチェコ大使。大きな体に優しい目をした大使は、全校生徒を前にまずふるさとチェコの紹介をしました。苦難の歴史を生き抜いた誇り高くエネルギーにあふれた国民の姿が見えました。次にEUの歴史について語りました。太古の昔から争いの絶えなかったヨーロッパが、今日まがりなりにも平和を保っていること、そして、まだまだ国同士や民族間の不協和音は消えないけれどEUは確実に前進しなければならない、という大使の言葉の端々から、欧州の人々のEUに賭ける思いと決意を、強く感じ取ることができました。

以上、最近本校生が体験した「国際交流」を紹介しました。これだけ国際交流に

力を入れている高校は他にないと自負しています。富谷高校の生徒たちは、このような様々な経験を通して、これからの国際化社会を生きる知識とパワーを身につけ、卒業後の進路に生かしています。本校卒業生がこれからも、社会に大きな貢献をしていくことはまちがいありません。

□ 仙台第二高等学校

| <北陵の風に誘われて新しい物語が今始まる>

仙台二高は、市の中心部から西にバスで十数分、広瀬川に架かる仲の瀬橋を渡ったところ、宮城県美術館、仙台市博物館、仙台国際センター、東北大学など、文化・教育施設が集中している地区の一角を占めています。鬱そうとした樹木に囲まれて静かにたたずむ校舎は、緑に埋もれてちょっと見過ごしてしまうかもしれませんね。

明治33年の創立で、来年は創立110周年を迎えます。27,000名を超える卒業生が様々な分野で活躍しており、なかでも学問の世界で活躍なさる方が目立ちます。あまり知られていない事実ですが、日本学士院賞受賞者が5人というのは全国的にも類を見ない快挙といえるでしょう。

それでは現在の仙台二高を紹介します。

1 生徒の構成

定員は1学年320名で現在の在籍数は958名です。2年生からは文理別のクラス編成になります。今年度、男女共学が完成し、263名の女子が男子に混じってがんばっています。

2 教育課程

授業は1時限45分で、週5日のうち3日を7時限、2日を8時限で授業を行っています。授業内容はどの教科も高度で、とくに3年生になるとそれはもうハードの一言ですが、学問の真のすばらしさを味わうことができるのは、二高ならではのようです。

3 部活動

本校では、骨太な人間形成のためには、学業と部活動の両者を等しく追求することが不可欠であるという信念に基づき、現在、運動部22部、学芸部15部に加え、18の愛好会が活発に活動しています。これは本校の先輩である柔道家三船久蔵十段の「文武一道」の精神を脈々と受け継いでいるからです。

運動部は、いずれもたいへん熱心に活動しており、東北大会や全国大会に進出する部も珍しくありません。今年度は陸上部、フェンシング部、水泳部、ヨット部がインターハイ進出を果たしています。

学芸部の活躍にも目を見張るものがあります。特に囲碁部、写真部などは種々の全国クラスの大会で入賞しています。

学業と部活動の両方に青春のエネルギーをぶつきたいと思っているなら、二高はそれに応えることのできる学校です。

4 主な学校行事

- 4月 大運動会
- 5月 仙台二高・一高定期戦
- 6月 芸術鑑賞会
- 7月 岩手山麓野外活動（1年生）
- 8月 北陵祭（文化祭）
- 10月 秋季体育大会

5 生徒会活動

生徒会の自発的な運営ぶりも特筆に値します。年2回の総会では激論が展開され、

また12ある委員会活動も活発に活動しています。また、北陵祭における北陵祭実行委員の活躍はよき伝統として毎年引き継がれています。

6 卒業生の進路状況

毎年100名程度（現浪あわせると200名以上）が、地元の東北大学を始め、東京大学、京都大学などの難関国公立大学に進学しています。医学部医学科への進学も年々増加しています。

二高のイメージがつかめたでしょうか？

熱いハートを持つみなさんの入学を、私たちは歓迎します。それでは来年の4月に会いましょう。がんばって！

□ 迫桜高等学校

| <夢 はばたけ未来へ！>

迫桜高校は、旧若柳高校と旧栗原農業高校が再編統合され、平成13年度に開校し、今年で9年目を迎えた高校で、栗原市若柳地区にあります。第3の学科といわれる「総合学科」の単科高校として、充実した施設設備とともに、地域性を重視した様々な取組を行っています。

1 ガラス張りの校舎 開かれた学校づくり

迫桜高校の校舎は総合学科の学校を創る、という計画の下に設計・建築された「総合学科仕様」の校舎です。その外観はひと目では高校とは思えない、個性的なデザインで、打ちっ放しのコンクリート壁と、オープンスペースを多用した開放的な作りが特徴になっています。そしてその開放的ということを象徴するように、各教室はほとんどがガラス張りで、生徒の学習する様子がよく見渡せる設計は、県内唯一のつくりといえます。

その開放的な設計の校舎とともに、教育活動も「開かれた学校づくり」を旗印に、様々な取組を試行しています。学校図書館の一般開放、迫桜通信（隔月発行の学校広報紙）の各町内会回覧、みやぎ県民大学開放講座の開催をはじめ、年間の様々な活動を、PTAや地域の皆様とともに行っています。

2 白熱の体育大会 情熱の迫桜祭

どの学校でも体育大会や文化祭は、生徒の溢れんばかりのエネルギーが爆発し、毎年感動的な場面を多く創っていますが、迫桜高校も例外ではありません。とくに総合学科の本校は、2年次、3年次となると、同じクラスでも一人一人の時間割が違うため、ホームルームの仲間意識を感じる機会はほとんどありません。そのためクラスの絆を形作る機会として、また人間形成の上から、体育大会や迫桜祭（文化祭）を、とても大切な行事と位置づけています。とくに体育大会における学年対抗リレーでの、各学年全員で円陣を組み必勝を誓う姿や、迫桜祭のクラス全員で取り組む、歌やダンス、和太鼓の演奏等のクラス対抗行事にかける、生徒たちの熱い思いは、開校以来迫桜高校の名物行事となっています。

3 進路いろいろ 人生いろいろ

総合学科の生徒像は、なかなか一掴みにできません。様々な進路をめざす生徒の姿がそこにあるからです。とくに迫桜高校は総合選択制を取り入れているので、同じクラスの生徒といえども、約150ある科目から自分の興味関心、進路希望に合わせて、自由に選択した科目を履修していますから、人も時間割も本当に様々、まさに人生いろいろです。将来的に、同級生、同窓生のつながりのなかから、様々な職種の人とのつながりが生まれ、社会生活を営む上で、幅広い人生観が醸成されていくことが楽しみです。

4 総合学科？ 総合学科！

いままでいろいろ迫桜高校の様子を主に総合学科の視点でお伝えしてきました。平成6年度に始まった総合学科ですから、社会的にはまだまだ総合学科に対する認識は低いといえます。現に本校の保護者からも、総合学科というのがよくわからない、といわれていることも事実です。時間割の複雑さ、科目選択の難しさが、そのようなイメージを作っているともいえましょう。

一口に言って総合学科では、自分の進路に対する主体性がとくに求められます。また逆に、総合学科のプログラムは、職業や進路に対する主体性を育成していけるよう構成されています。科目選択は確かに大変な労力を要しますが、その労力そのものに大きな教育的価値が付加されています。生徒が社会を知り、職業を知り、その現実と向き合っ、て、科目の履修修得という形で自分の人生を設計し実現させていく、それが総合学科の根幹であります。「夢 はばたけ未来へ！」という本校のキャッチフレーズは、そういう総合学科で学ぶ生徒の未来に対する応援メッセージであるのです。

5 迫桜高校ホームページでは

本校のホームページでは、公式ブログを掲載しています。本校の日常の様子が、ほぼ毎日更新され、学校の様子をいきいきとお知らせしています。保護者の方、地域の方への広報活動ですが、迫桜高校を知りたい誰にも目を留めてほしいコーナーです。ぜひ開いてみてください。

→(詳しくはこちら)<http://www.hakuou.myswan.ne.jp/>

□ 石巻西高等学校

| <学習習慣の定着を目標とした取組と新カリキュラム導入>

平成15年度から平成17年度の3カ年、文部科学省からの指定を受け「学力向上フロンティア事業」を実施しました。この事業では生徒には「学習の記録」の記入、国・数・英・小論文の順に「週末課題」を課し、学習習慣の定着に取り組みました。さらに平成18年度から平成20年度は「学力向上拠点形成事業」を実施しています。この事業ではフロンティアの中身を受け継ぎ、週末課題は国・数・英で毎週出すようにし、確認テストを実施している教科もあります。教員に対しては、宮城教育大学と連携して、公開授業を実施し授業力の向上に努めています。

また、国際理解教育にも力を入れ、講演会(平成20年度はラトビア駐日大使の講演)、海外への修学旅行(平成20年度はハワイ、希望者のみ)、短期交換留学生の受け入れ(昨年度は中国人留学生が授業を受けるとともに、本校生徒宅に泊りました)などを行なっています。

さらに、平成19年度入学生から教育課程が変わり、より進学に特化したカリキュラムになりました。

詳しくはHP：<http://www.inisi.myswan.ne.jp>

■ 3 コラム ■

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ 泉松陵高等学校

| <学校紹介>

| 生徒会長 3年 丹野 夏紀

我が泉松陵高校は、県民の森に隣接しており、四季の移り変わりを感じる事ができる、緑に囲まれた自然豊かな学校です。

授業は1時限65分と他校に比べ少し長めなので、最初のうちは大変だと感じるかもしれません。しかし、1時限65分授業だからこそ、どの教科も詳しく丁寧に分かりやすく指導していただけるので、すぐに慣れることができ、集中力も養われていきます。最近では、4年制大学への進学者が増え、なかでも国公立大学への進学者が年々増えてきました。自分の努力次第で、どの大学にも合格できる力を、泉松陵高校で身につけることが可能なのです。

学校行事としては、4月に入学式や新入生との対面式、5月に泉館山高校、泉高校、そして泉松陵高校の三校が優勝を争う三校定期戦、他にも7月には松陵祭、8月に球技大会、10月にマラソン大会、11月に芸術鑑賞会、12月には修学旅行（2学年）、1月にスキー教室（1学年）などの行事があり、3月に卒業式があります。なかでも5月の三校定期戦、7月の松陵祭、8月の球技大会、11月の芸術鑑賞会は特に思い出となる行事と言って良いでしょう。

三校定期戦は、運動部にとっては日頃の練習成果を発揮する絶好のチャンスになっています。昨年は惜しくも優勝することができませんでしたが、普段見ることができない部活動の試合を観戦できるのもこの定期戦の魅力です。「泉和エール」と呼ばれる、応援団リードによる三校が一体となるイベントも、大変見ごたえがあります。

松陵祭は毎年、大変な盛り上がりを見せます。この勢いはどの高校にも負けません。昨年1日目は3年生が中心となってパフォーマンス大会が行われました。各団体とも何度も練習を重ね、それぞれ衣装を用意してのステージ発表となります。歌ったり踊ったり、ミュージカル仕立ての発表をする団体もありました。観客も一体となって楽しめる行事です。2日目の一般公開では文化部の熱の入った発表や工夫された展示が行われます。また、多くの模擬店が開かれ1日中楽しむことができる文化祭です。体育館では演劇や吹奏楽部の演奏などが行われます。

球技大会では、各クラスでオリジナルTシャツを作り、バレー、バスケ、サッカー、キックベースなどの種目を学年の枠を超えて競います。このような対戦では、3年生が有利なのではないかと思われるかも知れませんが、実際は1年生が優勝することも珍しくありません。自分が競技に出場していない間は、他の競技に出場しているクラスの仲間達の応援をします。クラスの団結力が高まる場面でもあります。

芸術鑑賞会は、マジックや落語、演劇、音楽など、普段なかなか鑑賞する機会がないものを皆で鑑賞し楽しむことができます。毎年、とても興味深いものばかりで最後まで目を離すことができません。

学校生活では、先生方一人ひとりが生徒のことを親身になって考えてくださいます。進路については、進路資料室がいつでも開放されており、自分自身で様々な進路研究ができます。先生方に進路指導のお話を聞きながら気軽に進路相談ができる場所でもあります。何につけても困ったときには先生方が適切なアドバイスをくださいます。

また、部活動や委員会では学年の隔たりがあまりなく、仲良く雰囲気よく日々活動しています。時には互いに励まし合いながら様々な学校活動を行っています。

中学生のみなさん、このような恵まれた環境の泉松陵高校で、是非一緒に高校生活を送ってみませんか。あなたの入学を心よりお待ちしております。

■ 4 お知らせ ■

◆ 公立高校合同相談会を実施して

平成22年度入試の全県一学区化に向けて、様々な疑問や相談にお答えするために、7月～9月にかけて「公立高校合同相談会」を6会場（石巻，大崎，仙台，気仙沼，登米，白石）で開催しました。あわせて約3,700人という多くの中学生，保護者の皆様においでいただきました。

内容については各会場共通で，①タイムテーブルに従って各高校が学校紹介（約15分）を行った「学校別説明会」と②各高校のブースで個別の相談・質問に応じた「学校別相談コーナー」でした。

高校教育課でも「全県一学区についての質問コーナー」を設け，直接保護者の皆さん等から質問を受けるようにしましたが，これに関する質問はほとんど見受けられず，来場された生徒・保護者の多くは，地元の高校の説明会を中心に参加されていました。中学3年生の皆さんの不安を少しでもなくすために，平成22年度入試には，予備調査を2回行うこととし，その1回目を11月上旬に実施し，その結果を11月11日に公表する予定です。

また，会場でのアンケート結果を見ますと，参加されたほとんどの生徒・保護者から「大変参考になった」，「参考になった」との回答を得ました。全県一学区前に実施すべき取組として2年間行った行事ですが，今後もぜひ続けてほしいとのご意見をたくさんいただいております。来年度も各地区での説明会を続けていきたいと考えています。

◆ 公立高校ガイド（入試情報）について

平成22年度春の高校入試関係情報を含む各高校の特色をまとめた「平成22年度公立高校ガイド（入試情報）」を各高校のホームページに掲載しましたのでご活用ください。

公立高校ガイドは，高校教育課のホームページともリンクしています。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>



「公立高校ホームページ」をクリック



「見たい学校」をクリック … 各学校のHPのトップページへ



「公立高校ガイド（入試情報）」をクリック

◆ 公立高校ガイドブックについて

「公立高校ガイドブック」については，高校教育課のホームページに掲載しております。みなさんの進路選択の一つの資料として役立ててください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>



「平成21年度 宮城の公立高校ガイドブック」をクリック

◆ 平成22年度宮城県公立高等学校入学者選抜事務説明会開催日程一覧

中学校の進路指導担当者を対象として，平成22年度宮城県公立高等学校入学者

選抜要項を用いた入学者選抜事務説明会を下記のとおり実施します。

- | | | | |
|--------|---|----------------|-----------|
| ○中部南地区 | … | 平成21年10月23日(金) | 仙台市教育センター |
| ○中部北地区 | … | 平成21年10月26日(月) | 仙台市教育センター |
| ○北部地区 | … | 平成21年10月28日(水) | 大崎合同庁舎 |
| ○東部地区 | … | 平成21年10月29日(木) | 石巻合同庁舎 |
| ○南部地区 | … | 平成21年10月30日(金) | 大河原合同庁舎 |

■ 6 編集後記 ■

今年度になって4号目の「高校教育課 情報メール」第13号をお届けします。今回は、県内の高等学校の特色ある取組とあわせて、平成22年度宮城県公立高等学校入学者選抜事務説明会開催日程一覧も紹介しました。

中3の皆さんは高校入試に向けて勉強に拍車がかかっていることと思います。新型インフルエンザが流行しています。うがい、手洗い、マスクの着用など予防対策を万全にしながら、頑張ってもらいたいと思います。今後も県立高校に関するさまざまな情報をお知らせしますので「高校教育課情報メール」をよろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1
TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696
